

知事から各部長への指示事項

<「県の対応の目安」の運用の見直し>

- 本日、過去最多の新規感染者 963 人が確認されました。また、6 月末から 7 月にかけて、感染第 7 波に本県も襲われています。
- 感染力は大変強いが、重症化率は低いという特性を考えたときに、今までお示ししていた「県の対応の目安」の運用について、当面、変更を行うこととしました。
- こうした運用の変更も踏まえ、特に以下の点について、関係部局は留意して取り組んでください。

<保健・医療提供体制の負担軽減>

- 昨今の新規感染者の急増により、保健・医療提供体制にかなりの負担が生じています。この負担軽減を図ることに、まずは取り組まなければなりません。
特に、医療機関においては、感染者の急増に加えて、医療従事者が感染者や濃厚接触者となり、マンパワーの確保が厳しく、負担感が増しているという状況が報告されています。
- こうした医療機関の負担を少しでも軽減できるように、治療を終えた方などを受け入れる、介護付きの宿泊療養施設「やまもも」の速やかな開設に取り組んでください。
- 自宅療養者の方々も増えていきますので、引き続き、保健所を設置している高知市とも連携して、効果的なフォロー体制を取ってください。
- また、感染者の急増を受けて、検査医療機関の負担軽減についても、手を打たなければなりません。
特に、発熱外来への受診が急増しており、一部では電話が繋がらないといった状況も見受けられます。発熱外来の負担軽減を図るため、有症状者向けに、抗原定性検査のキットを自宅に配布する仕組みについて、速やかに関係者と協議を行って実行するようお願いいたします。

<無料検査体制の拡充>

- 現在、県内に170の無料検査会場を設置していますが、感染拡大に伴い利用者が大幅に増加しています。

今後、夏休み、お盆の時期により、検査ニーズがさらに高まることを踏まえ、ニーズの受け皿となる高知駅前に臨時設置する「県営の検査会場」の運営をスムーズに行うよう準備をお願いします。

<速やかなワクチン接種>

- 4回目のワクチン接種については、現在、高齢者や基礎疾患をお持ちの方などへの接種がピークを迎えているところです。7月22日には、新たに医療従事者、高齢者施設の従事者なども対象として加わることとなりました。

- 引き続き、県としても、市町村や医療機関と連携して、速やかなワクチン接種に努めてください。

- あわせて、新たなワクチン「ノババックス」は、副反応の心配がより少ないという県の調査結果の情報発信も行いながら、特に若い年代の3回目のワクチン接種率の向上に努めてください。

<各部局での感染防止対策の徹底>

- 本日から開催している「高校総体」、今週末に開催する「まんが甲子園」など、県が関与するイベントの開催は、予定が目白押しです。こうしたイベントの開催に当たっては、感染防止対策を徹底するよう万全を期してください。

<各部局での情報収集>

- 第7波における感染者の急増や、重症化率の低下という状況を踏まえ、「県の対応の目安」の運用を当面変更することとしました。

各部局においては、運用の変更に対応して、今後、「特別警戒」のステージに移行することを想定した場合に、具体的にどういった対策を講じることが有効であるか、国の方針や、先行して感染拡大が進んでいる他県の対応状況などについて、しっかりと情報収集を行い、本県におけるベストな対応について検討を行ってください。